

平成22年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費  
 2 項 工鉱業費  
 2 目 中小企業振興費

産業振興総室(内線:7663)  
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起 債	その他	一般財源	
【経済成長戦略】 中小企業の環境 にやさしい取組 推進事業	100,000	100,489	△489				100,000	
トータルコスト	104,034千円 (前年度110,431千円) [正職員:0.5人]							
主な業務内容	交付事務 (交付決定、実績報告書など審査)							
工程表の政策目標(指標)	県内中小企業の地球温暖化に対する意識を高揚し、エネルギー対策への取組を促進するとともに、企業競争力の強化を図る							

説明

1 事業の概要

県内中小企業等が環境対策に取組む上で必要となる設備の設置又は改善に対する助成を行う。

2 事業内容

○環境対策設備導入促進補助金 (100,000千円)  
 ⇒県内中小企業等の率先的な地球温暖化対策技術導入による、資源及びエネルギーの消費、CO2の排出量抑制に効果のある取組に対して支援。

【制度概要】

対象事業者	県内事業者																
対象事業	<p>【省エネ設備導入 (執務環境整備型)】 従来の設備よりもCO2を10%以上節減する、照明・空調設備等の執務環境の整備に関わるの設備導入</p> <p>【省エネ設備導入 (競争力強化型)】 従来の設備よりもCO2を10%以上節減する、製造・加工設備等の企業競争力の強化に関わる設備の導入。</p> <p>【新エネ設備導入】 太陽光、太陽熱、風力、雪氷熱、バイオマス熱、水力、地熱、波力、海洋温度差等を利用した設備の導入</p>																
補助率等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>補助率</th> <th>予算枠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">省エネ</td> <td>執務環境整備型</td> <td>1 / 3</td> <td>40,000千円</td> </tr> <tr> <td>競争力強化型</td> <td>1 / 2</td> <td>60,000千円</td> </tr> <tr> <td>新エネ</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区 分	補助率	予算枠	省エネ	執務環境整備型	1 / 3	40,000千円	競争力強化型	1 / 2	60,000千円	新エネ				※補助金上限: 5,000千円/事業費下限: 2,000千円	
区 分	補助率	予算枠															
省エネ	執務環境整備型	1 / 3	40,000千円														
	競争力強化型	1 / 2	60,000千円														
新エネ																	
採択方法	審査会で総合的な審査を行い、(予算の範囲内で)優先順位により採択決定。 [審査委員 (案)] (財)省エネルギーセンター専門員、産業技術センター研究員、商工労働部職員、生活環境部職員 等 [採択基準 (案)] ○CO2の削減量が他に比較して多いこと。 ○本事業の実施によって、他の団体等に対する波及効果が見込まれること。 ○環境全般への配慮・取組が計画されていること。 ○経営改善に向けた効果 (経費削減、生産性向上等)が見込まれること。 ○目標達成に向けた計画、全体スケジュールが妥当であること。																

3 これまでの取組状況、改善点

平成21年度は37社を採択 (交付決定額98,712千円 (平成22年1月末現在/審査中含む))。県内中小企業における経費削減、生産性向上等の経営改善による成果が上がるとともに、本補助事業をきっかけに環境を配慮した取組を開始する企業もあるなど、本県の企業における環境意識は確実に高まっているものと認識。

[平成22年度改善点]

製造・加工設備や新エネ設備の導入実績の増加が図られるよう予算枠を設定。